

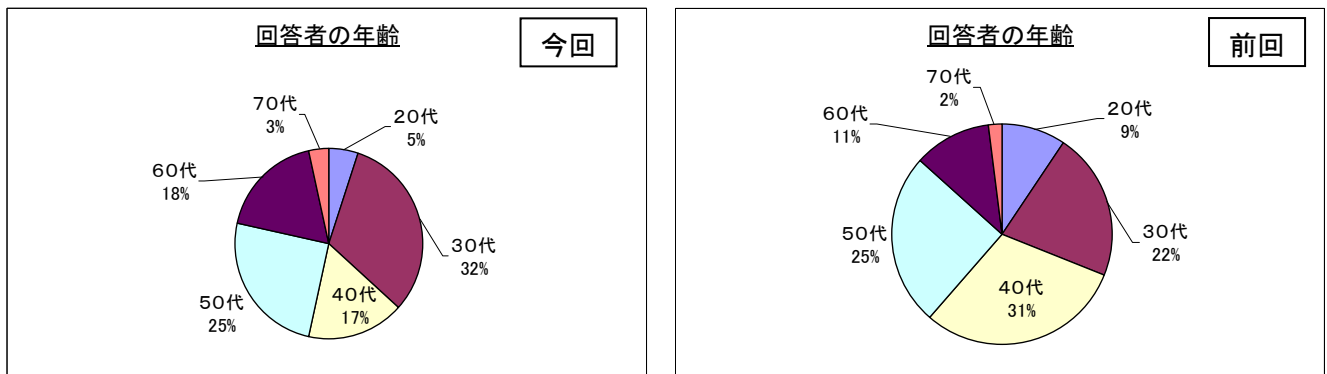
EST普及推進フォーラム アンケート集計結果

(今回総数 61件)

(前回総数 110件)

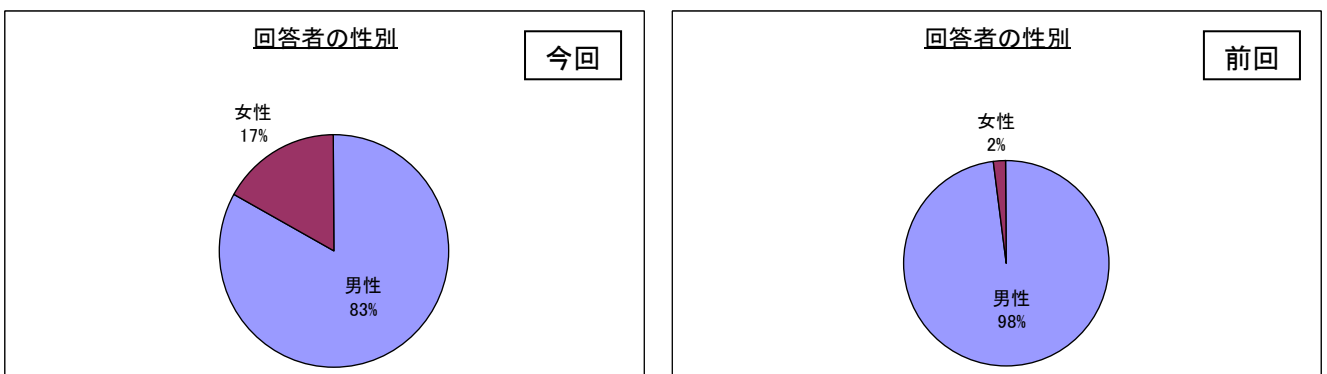
I あなたご自身についてお聞きします。

Q1 年齢



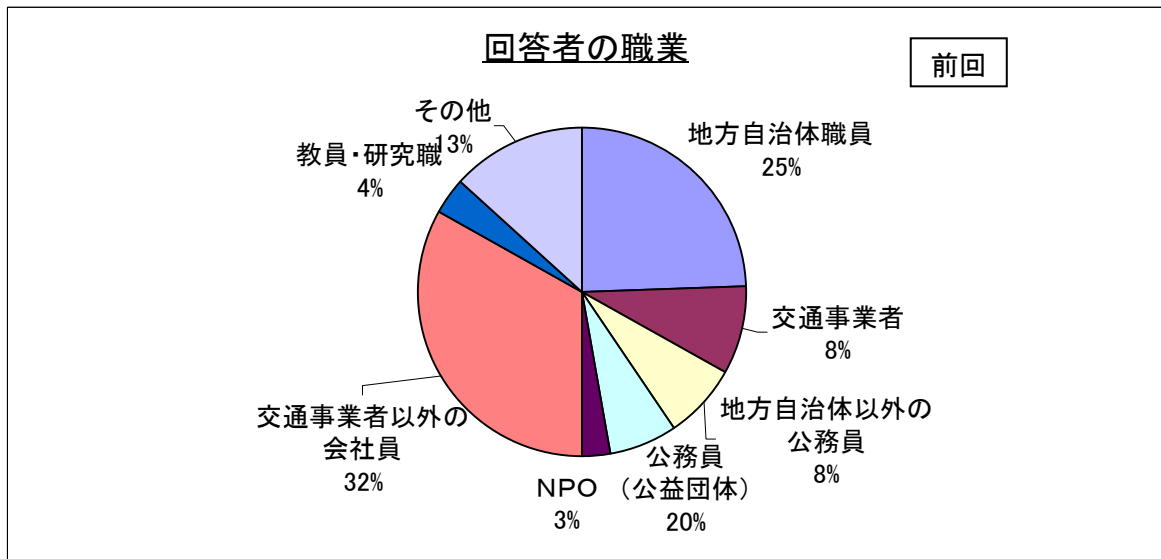
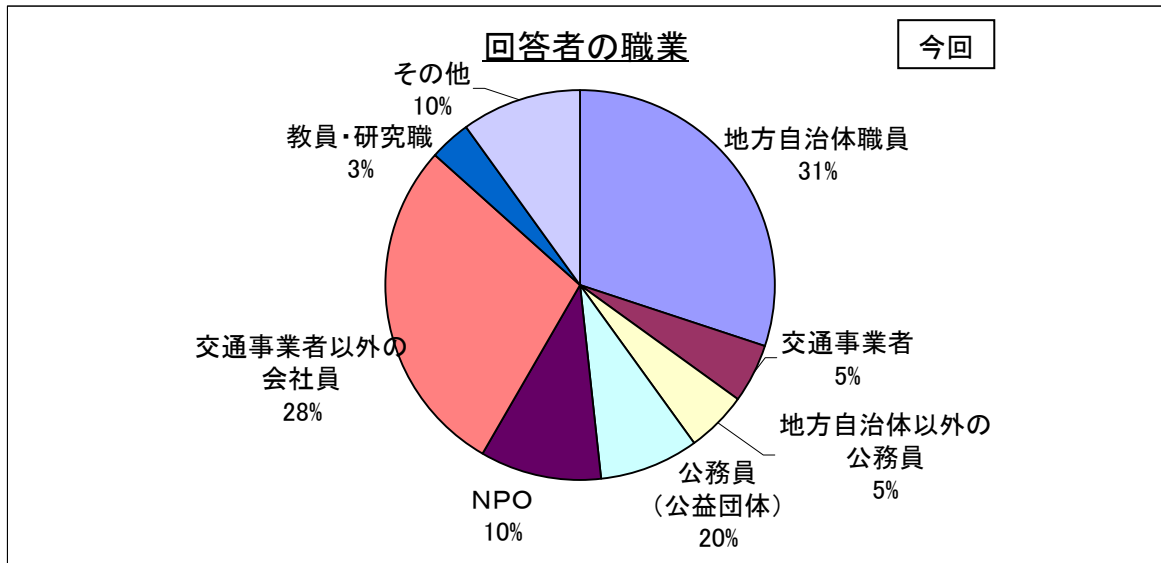
- ・ 回答者の年齢層としては、30代が1/3近くを占めていた。
- ・ 前回と同様に、年代ごとにバランスよく集客することができた。

Q2 性別



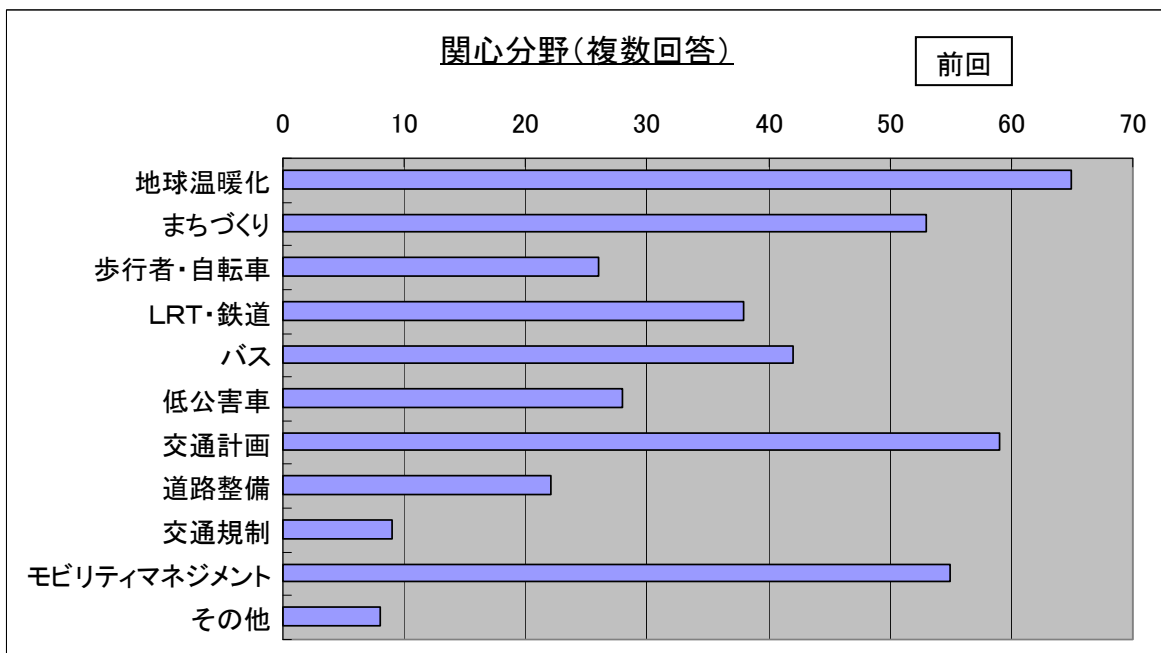
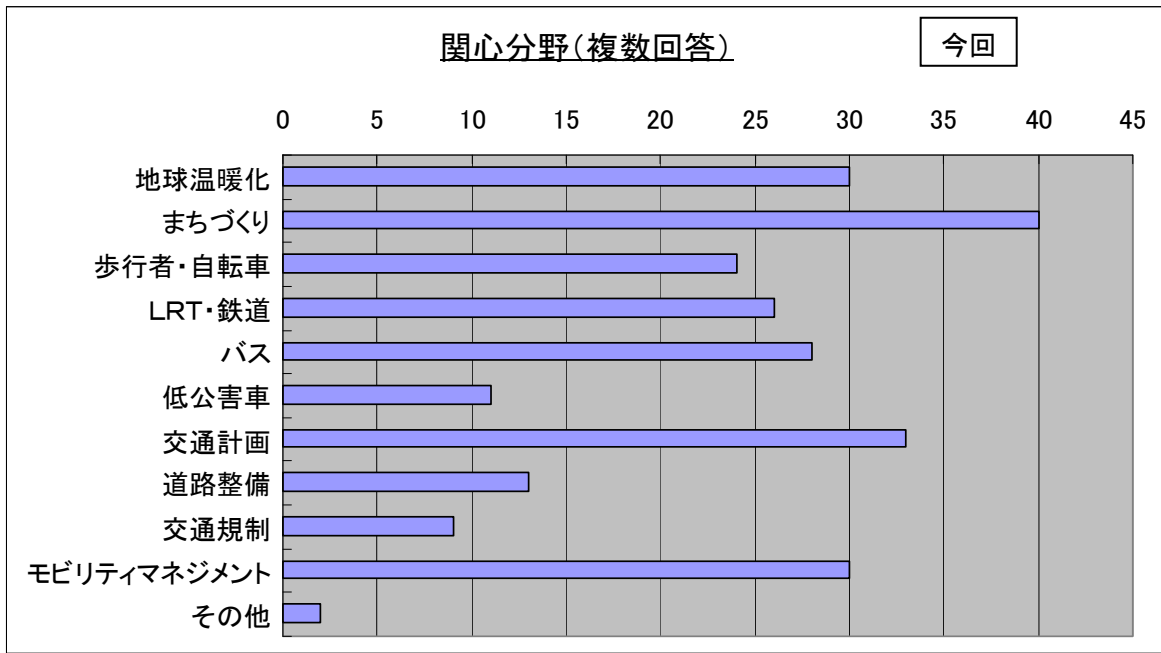
- ・ 当日の参加者、ならびにアンケート回答者は男性が多かった。
- ・ 回答者の女性の割合は前回より増加し、以前よりも女性の関心が高まったことが伺える。

Q 3 職業



- ・ 地方自治体職員の割合が 3 割以上を占めており、地方自治体の参加職員は、東京事務所の方が多く、地元に向けた情報収集が目的と思われる。
- ・ 交通事業者以外の会社員の参加も多く、大手企業の交通分野や環境分野の担当者が情報収集・学習目的で参加していることが伺える。
- ・ 前回と比較して、交通事業者の比率が減った一方で、NPO の割合が 2 倍以上増えた。

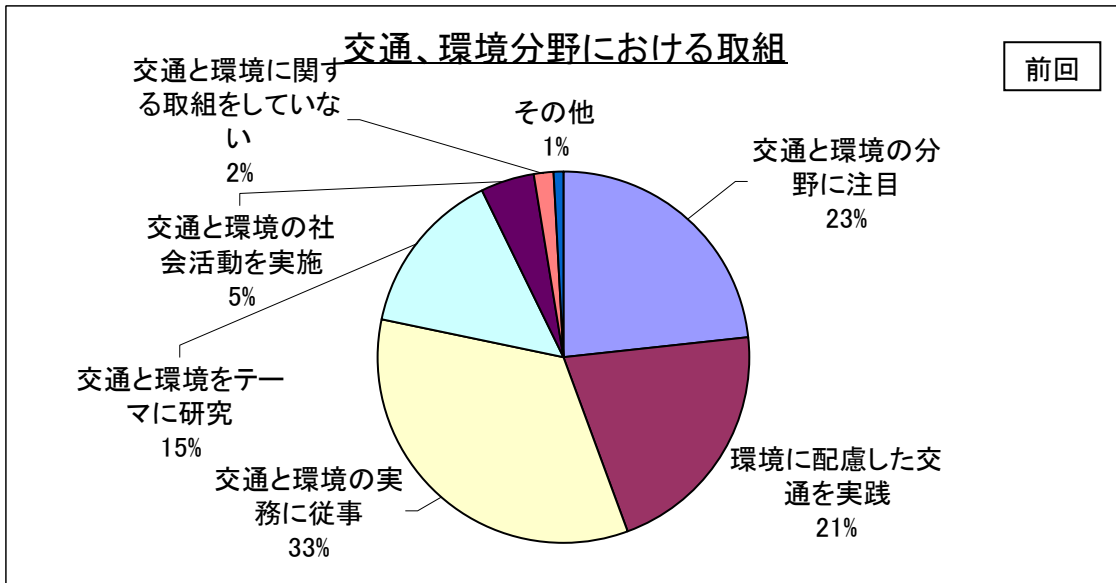
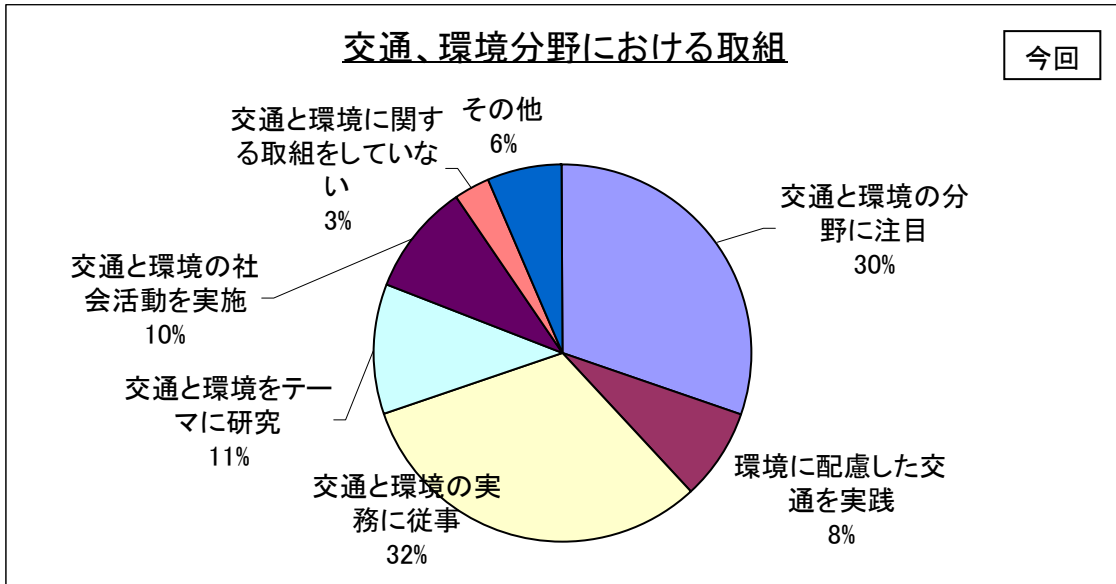
Q 4 関心分野



- ・ 回答者は、「まちづくり」と共に、「地球温暖化」、「交通計画」、「モビリティマネジメント」について関心が高かった。
- ・ この傾向は前回のフォーラムとほぼ同様であった。

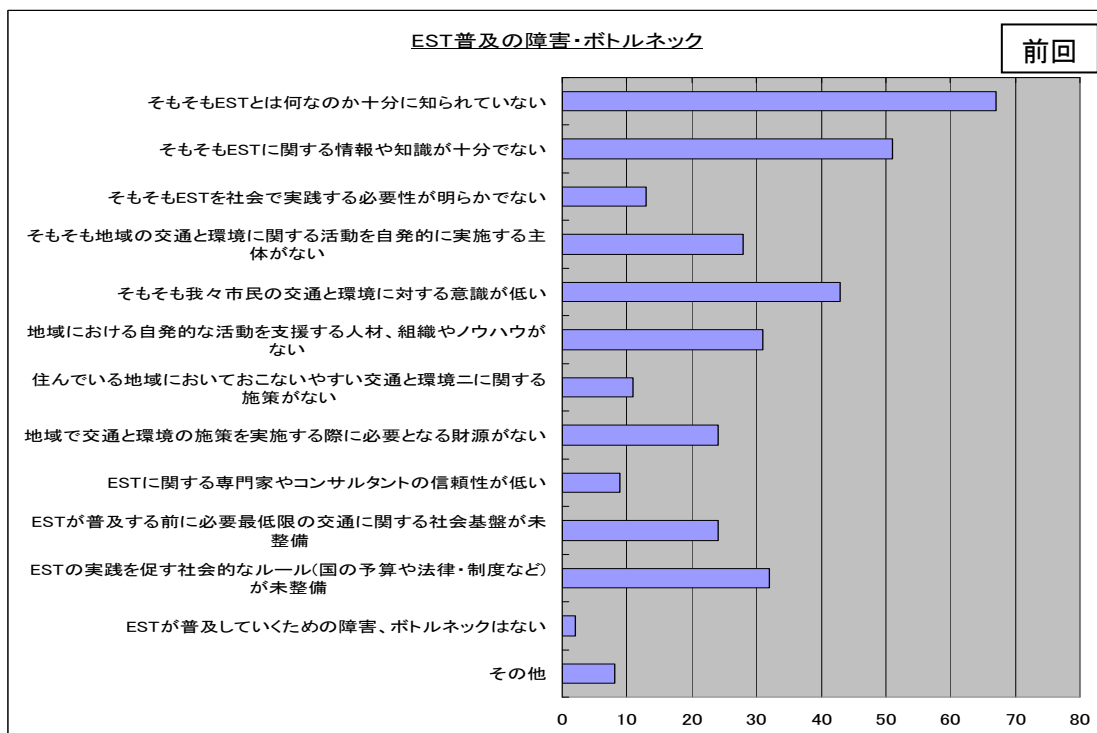
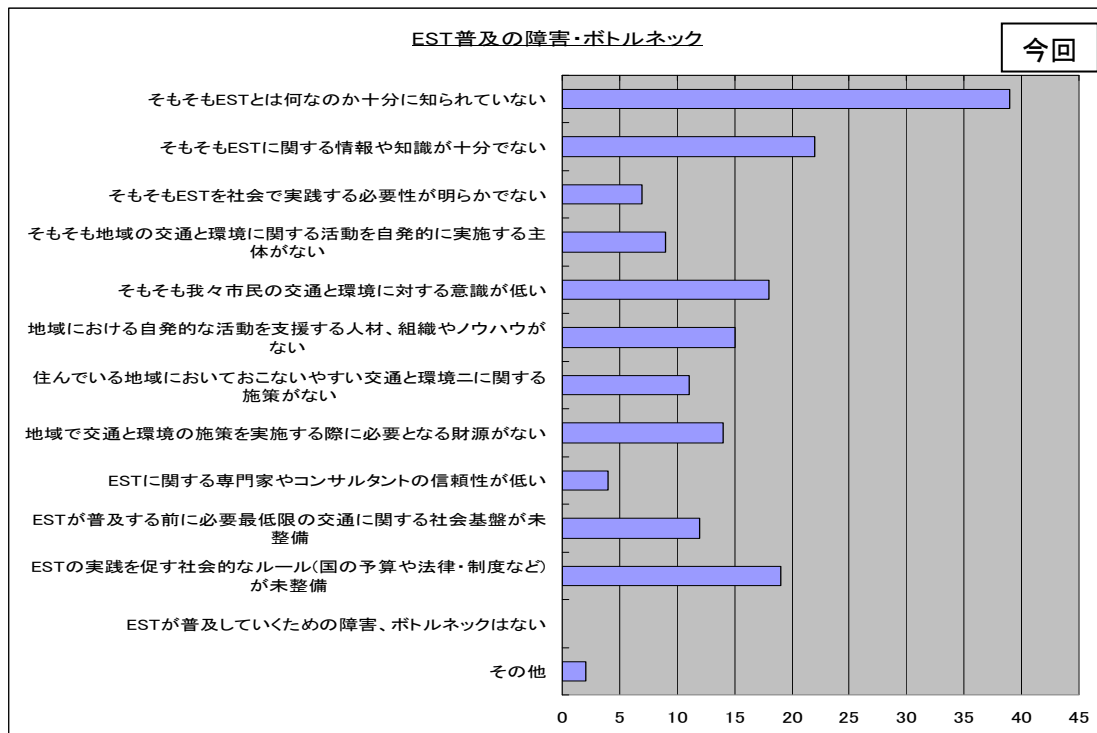
Ⅱ 本日のシンポジウムのテーマであるE S Tの普及推進についてお聞きします。

Q 1 現在、あなたは交通と環境の分野において、どのような取組みをしていますか？



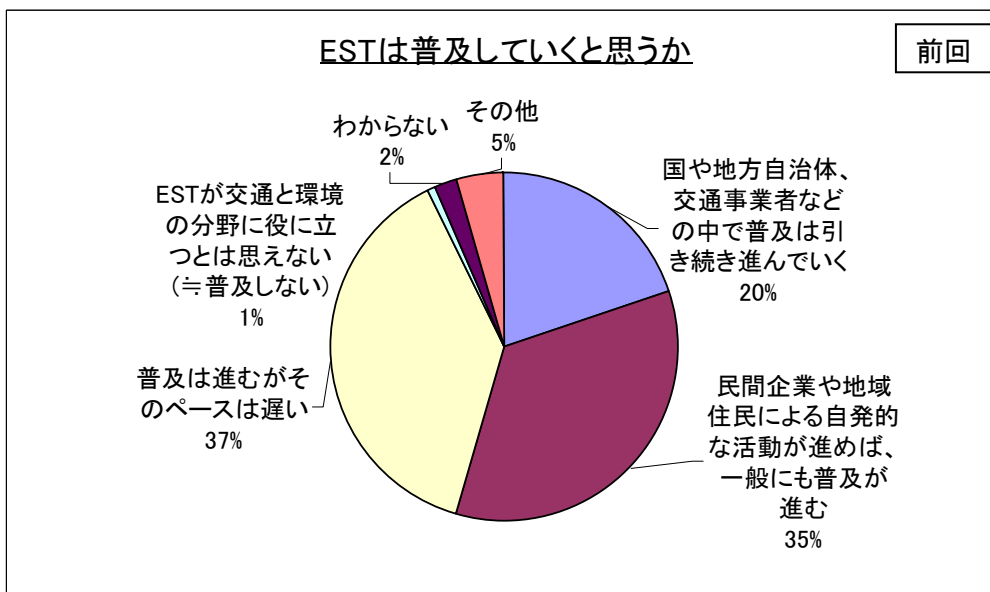
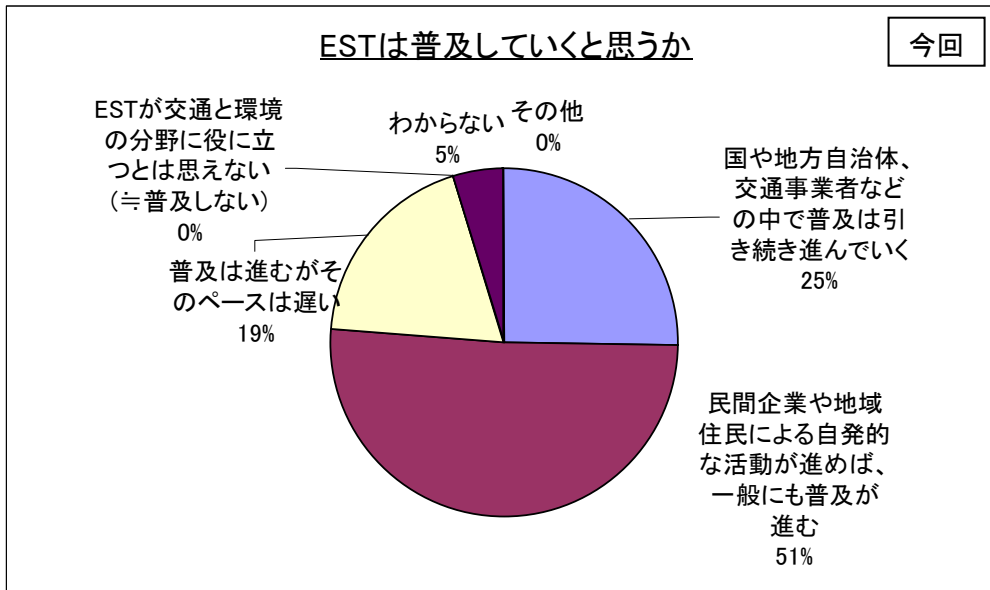
- ・ 「交通と環境の実務に従事」している方を中心に、何らかの形で交通と環境に関わっている方々が主に参加した。
- ・ 前回に比べて、「交通と環境の社会活動を実施」している参加者が増えており、NPOの参加割合が高まったことが原因と考えられる。

Q2 現在、EST が普及していくためには、何が障害、ボトルネックになっていると日頃お感じになりますか？



- ・ 全体的な傾向としては、前回フォーラムと同様であり、「そもそも EST とは何なのか十分知られていない」「そもそも EST に関する情報や知識が十分ではない」という意見が多かった。

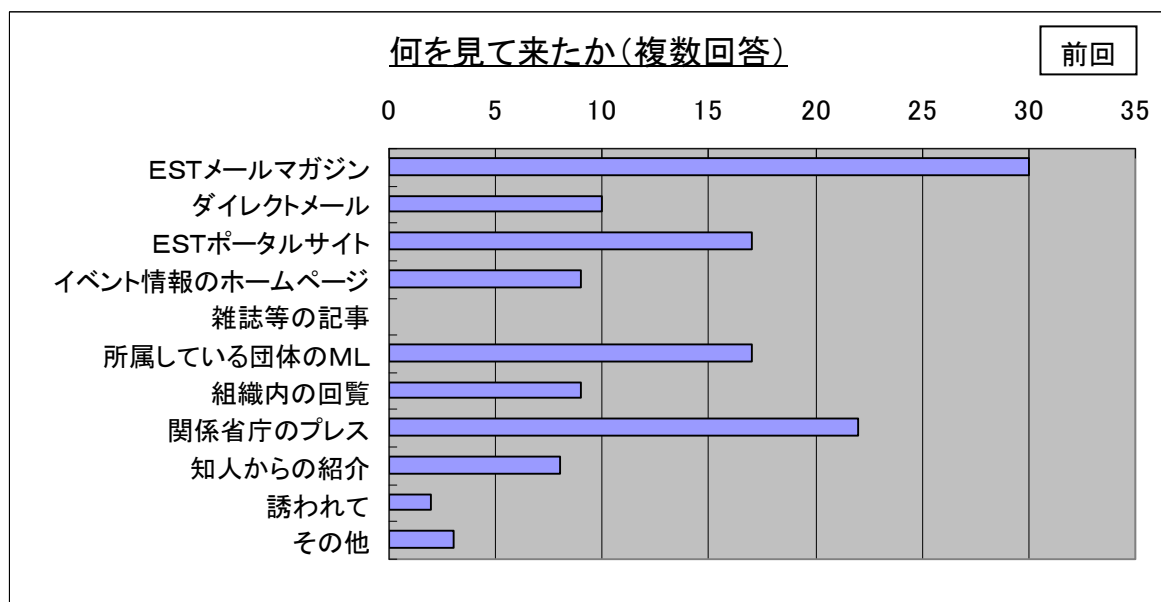
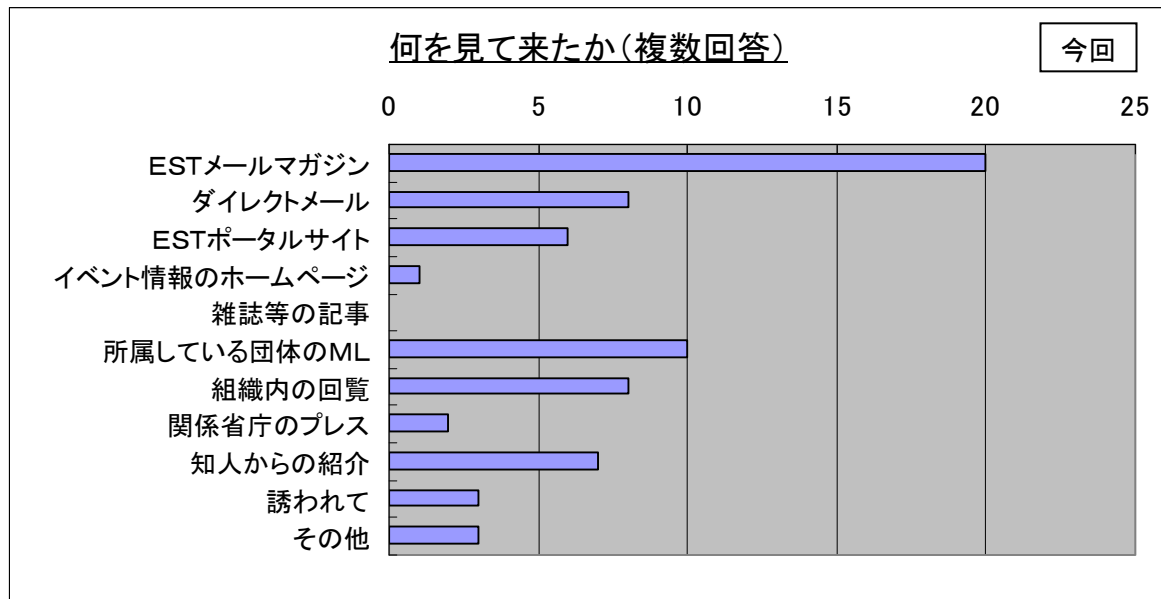
Q 3 今後、ESTは普及していくと思いますか？



- ・ ほとんどの回答者は何らかの形で EST の普及は進むと考えているが、その半数以上が「民間企業や地域住民による自発的な活動が進めば、一般にも普及が進む」と考えていた。
- ・ 前回フォーラムと比較して、「民間企業や地域住民による自発的な活動が進めば一般にも普及が進む」と答えた回答者の割合が増加した一方、「普及は進むがそのペースは遅い」と答えた回答者の割合は大幅に減少した。

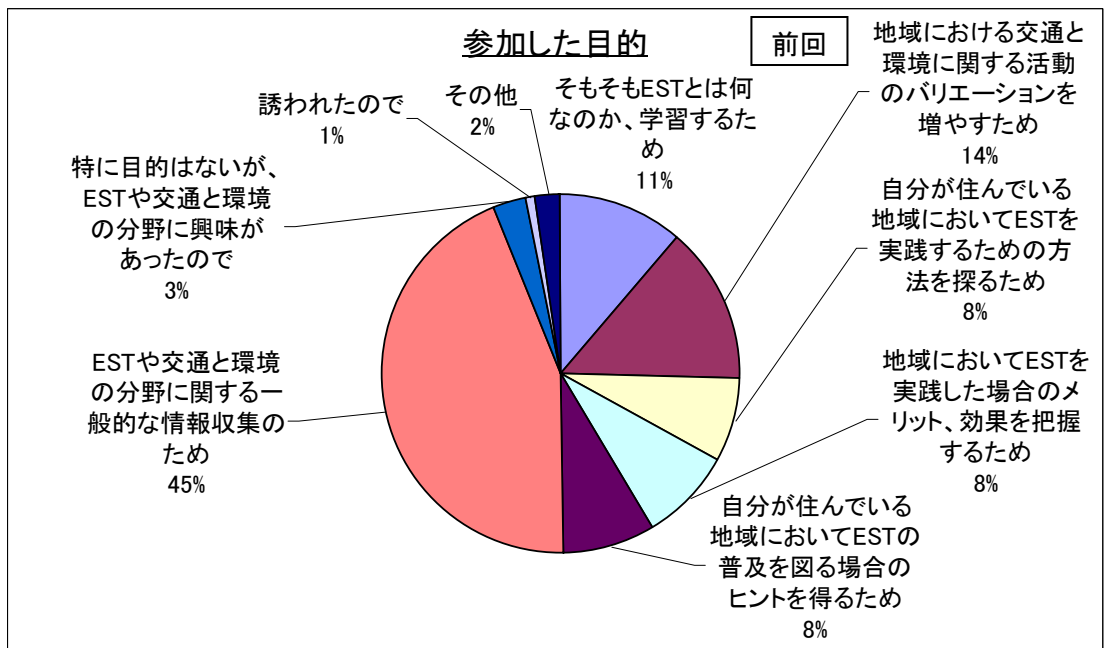
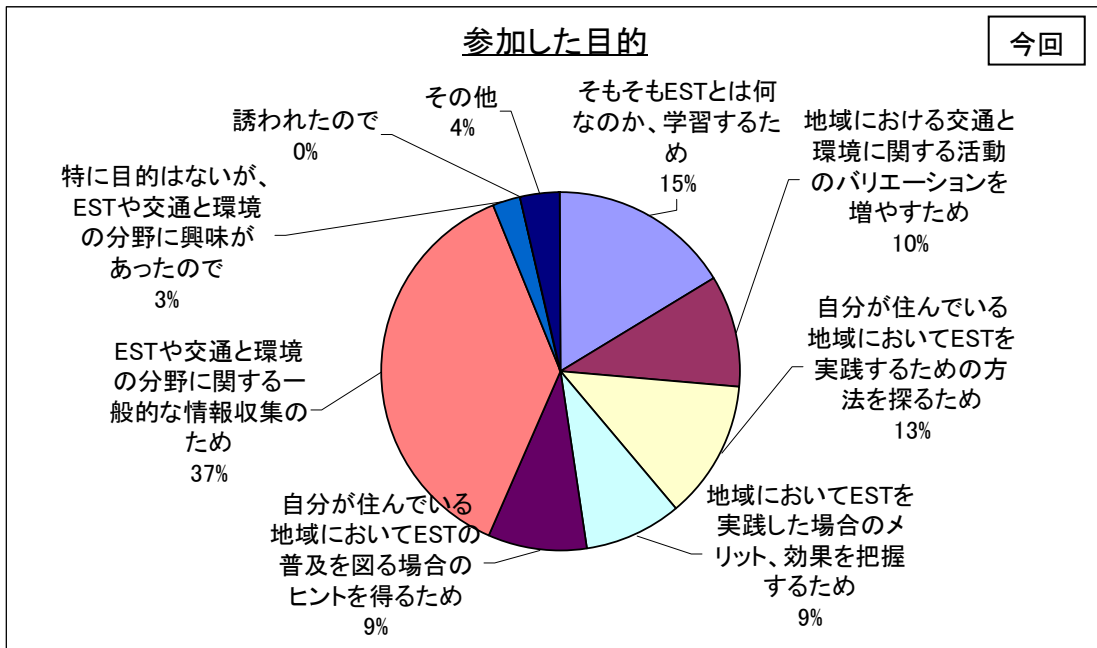
Ⅲ 本日のシンポジウムについてお聞きします。

Q 1 何を見て来られましたか？



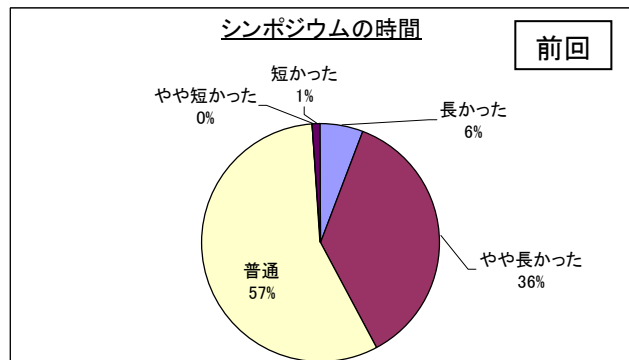
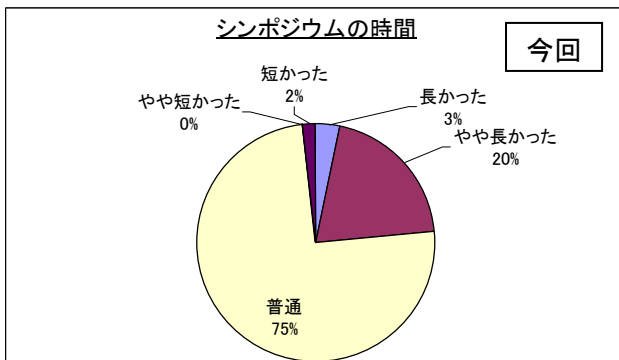
- ・「ESTメールマガジン」と答えた回答者がもっとも多く、次に「所属している団体のML」、「ダイレクトメール」、「組織内の回覧」が有効であるとわかった。

Q 2 今日のシンポジウムに参加した一番の目的は何でしたか？



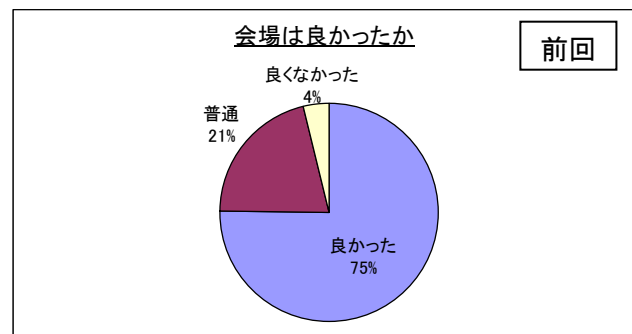
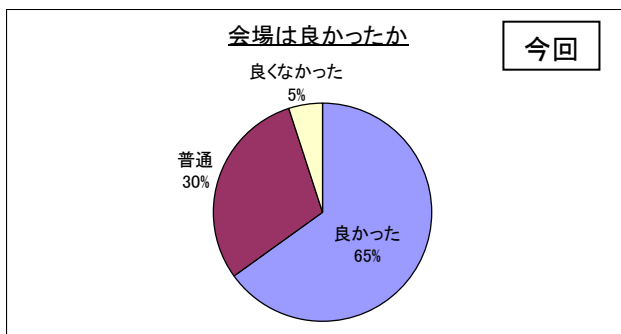
- ・ 参加者は何らかの目的意識を持って参加している方がほとんどであった。
- ・ そのなかで、「ESTや交通と環境の分野に関する一般的な情報収集のため」や「そもそもESTとは何なのか学習するため」と答えた回答者が多かった。
- ・ 傾向としては、前回フォーラムとほぼ同様であった。

Q 3 今日のシンポジウムの時間の長さはいかがでしたか？



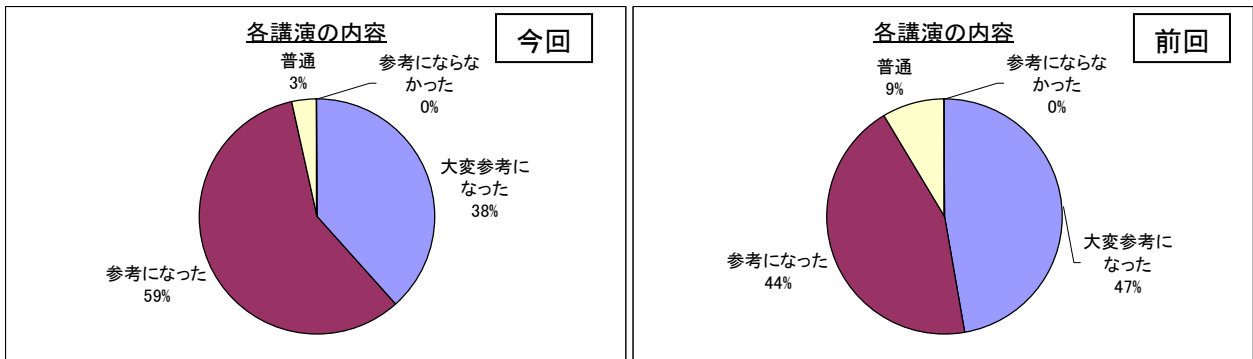
- ・ 回答者の 3/4 が普通と答えた。
- ・ 前回フォーラムと比較すると「長かった」「やや長かった」と答えた回答者の割合は減少した。

Q 4 会場はいかがでしたか？



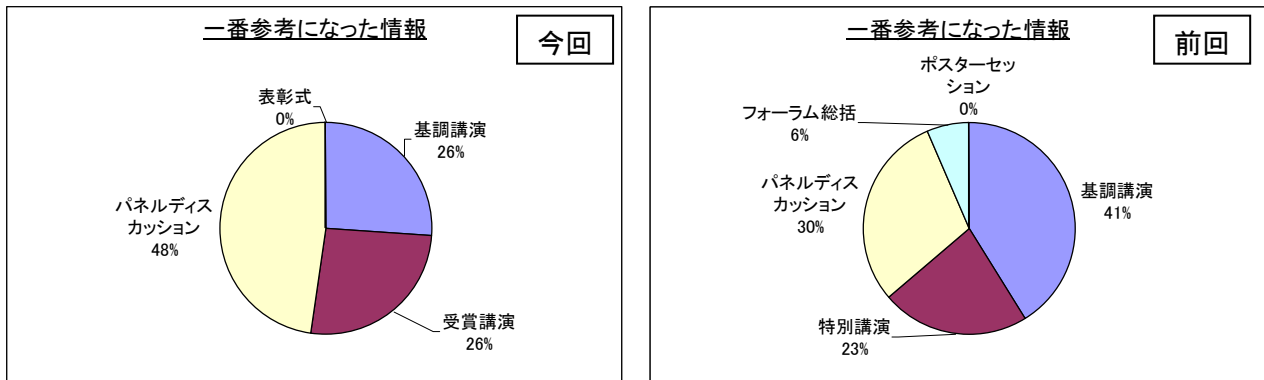
- ・ 会場に関しては、回答者の 2/3 が良かったと回答した。

Q 5 各講演内容はいかがでしたか？



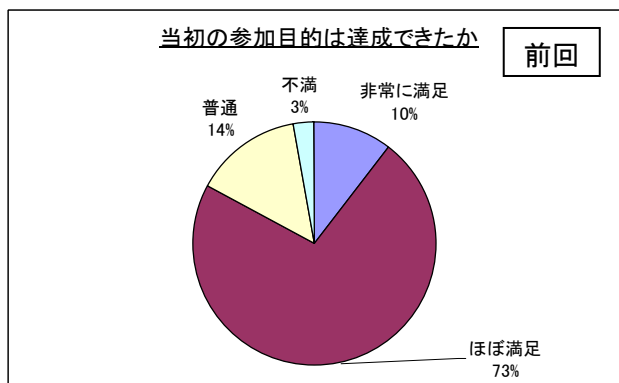
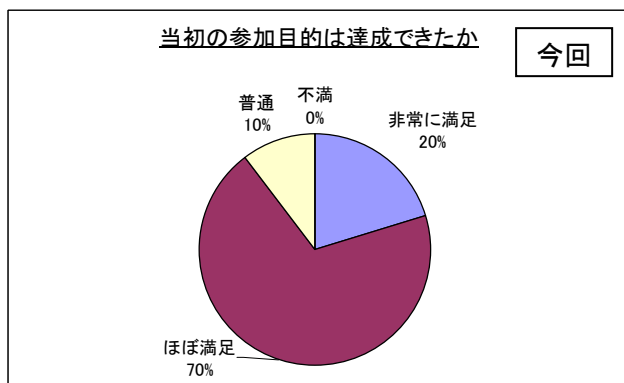
- ・ 回答者の9割以上の方が参考になったと回答し、参考にならなかったと回答した方はいなかった。
- ・ 前回フォーラムと比較して、「参考になった」と答えた方の割合が多かった。

Q 6 一番参考になった情報は何ですか？



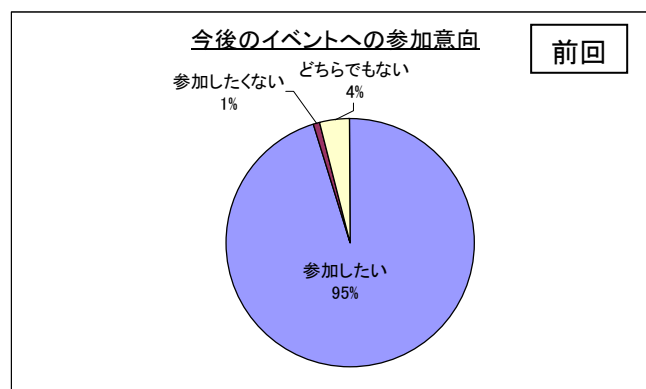
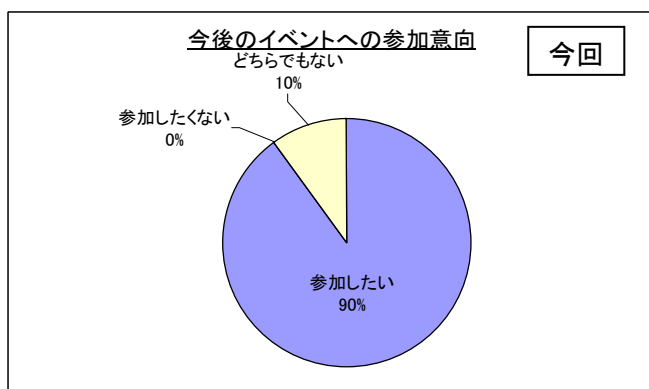
- ・ 一番参考になった情報は、「パネルディスカッション」と回答した方の割合が多く、「基調講演」と「受賞講演」は同数であった。

Q 7 総合的に、今日のシンポジウムに対する当初の参加目的は達成できましたか？



- ・ 回答者の9割が満足したと回答し、不満と回答した方はいなかった。
- ・ 前回フォーラムと比較し「非常に満足」の回答割合が増加した。

Q 8 今後のEST関連の各種イベントへの参加意向についてはいかがですか？



- ・ 回答者の9割の方が今後もEST関連の各種イベントに参加したいと回答した。
- ・ 今後のEST関連のイベントに参加したくないと回答した参加者はいなかった。

Q9 主な自由意見

<フォーラムの運営について>

- ・ 声が小さく少し聞き取り低い、パネルディスカッションではもって話されたほうが良いのではないかと。
- ・ 会場・参加者からの質問とそれに対する講師の回答は参考になるので、その時間を増やしてもらいたい。

<ESTモデル事業について>

- ・ 各都市、各事業者における失敗事例を特集していただきたい。
- ・ ESTのマーケット・市場規模がある程度明示されるとより盛り上がるのではないかと。民間企業も含めて、何かしらの旨味がわからないと継続性が担保されないと感じる。
- ・ 自転車の利用促進が低炭素交通システムの実現に最も効果的と考える。そのための自転車道や自転車専用レーンなどのハードの整備を切望する。この点に関して先進事例を取り上げてほしい。自転車は未だに歩道を通行するものと思っている市民が大半であろう。
- ・ 現状のバス・鉄道を活かした新たな交通体系の確立、自動車の減少を伴った公共交通への転換、特に財源のないケースにおける施策を紹介していただきたい。

以上